

久留米大学と共にSDGsに取り組みませんか？ サポーター企業募集中！

久留米大学が展開するSDGs推進プロジェクトのサポーター企業を募集しています。
プロジェクトの更なる推進のためには、皆さまからのサポートが不可欠です。
本活動の趣旨に賛同し、ご協力いただいている企業・団体をグラウンド利用者へ周知させていただきます。
久留米大学と一緒に地域と未来のため、持続可能な社会の実現をめざしませんか？

【サポーターズプラン】

- ・医学部総合グラウンド内における看板掲示
- ・イベント等開催案内チラシへの協賛企業名
団体名の紹介
- ・久留米大学ホームページでの紹介
(広報誌等への掲載を含む)

ボードサイズ

横240cm×縦120cm

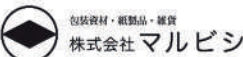
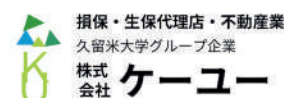
協賛金額

年額300,000円

※原則3年間の更新をお願い致します



【2023年度 ご協賛企業様】



KURUME UNIVERSITY SDGs

久留米大学は地域の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献します





久留米大学SDGs推進プロジェクト これまでの活動

地域のスポーツ・健康促進拠点 医学部総合グラウンド

延べ利用人数

約
20,000人

【公式戦・イベント会場】

九州学生春季交流戦、クロスオーバーアスリート測定会、インディペンデンスリーグ戦、九州大学サッカートーナメント、九州大学サッカーリーグの2部リーグ戦、福岡県南部地区7人制ラグビー大会、福岡県南部地区高校合同練習会、U-16リーグ戦、高校九州リーグ戦、ロイスタリーグ公式戦サッカー、九州学生ラグビーリーグ戦 他

【本学主催および提携団体との共催イベント会場】

夏休みラグビー教室、ストレッチング教室、小学生ラグビー教室
小学生サッカー教室 他

【団体のスポーツ練習会場】

(株)LeRIRO、ナナイロ・ラボ、りんどうヤングラガーズ、Los Gala、ナナイロブリズム、久留米市立中学校、福岡県南部ラグビー協会、筑後FC、福岡県ラグビーフットボール協会中学委員会

【部活動および学内行事】

陸上部、ラグビー部、女子ラグビー部、サッカー部、ハンドボール部
アメリカンフットボール部、職場レクリエーション、デイケアプログラム 他

夏休みラグビー教室

延べ272人の小・中学生が全4日間参加し、ルリーロ福岡、ナナイロブリズム福岡の選手から、ラグビーの基礎から応用までの指導を受け一緒に汗を流しました



小学生ラグビー教室

小学3・4年生の子どもたち45人が参加し、九州電力のラグビー選手と一緒にプレーを楽しみました

小学生サッカー教室

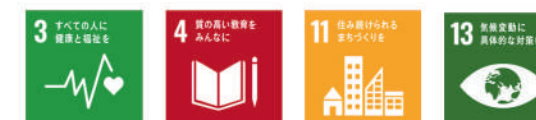
福岡県南部地区の小学生約120人が参加し、サガン鳥栖のコーチから学年に応じて指導を受けつつプレーを楽しみました



ストレッチング教室

80歳を超える方も参加し、本学の教員や卒業生より健康・栄養運動の大切さについて学び、学生と共にストレッチやウォーキングで汗を流しました

大学が目指すもの



この取り組みは、久留米市に根ざした大学として「地域への貢献」という基本理念の下、医学部総合グラウンドや石橋正二郎記念体育館、筑水会館などを学生利用のみならず、久留米市や周辺地域の方々のスポーツ活動の場・健康づくりの場となる企画を通じて活用し、元気なまちづくりに貢献すること、SDGs「持続可能な開発目標」の達成に貢献することを目的としています。

スポーツによる地域の活性化

スポーツには多くの健康上の効果が認められるにもかかわらず、世界中で運動不足が増加しています。私たちは、地域の方々がスポーツを楽しみ、スポーツに親しめる環境を提供します。利用者が自身の健康増進だけでなく、スポーツを通じた交流を楽しみ、地域活性化につながることを期待しています。

運動を通じた地域の人々の健康促進

地域に暮らす人々の健康作りに取り組み、「健康」や「安心・安全」をテーマとしたイベントやセミナーをあらゆる世代の地域の方を対象に開催しています。専門家の知識に基づくアプローチは大学主催のイベントならではのものです。多くの人に参加機会を提供することで地域全体の健康促進と持続可能な生活の実現を目指しています。

運動・スポーツを通じた子どもたちへの「質の高い教育」の提供

大学が連携協定を結ぶプロスポーツチームの協力により、プロスポーツ選手をゲストに迎えたスポーツイベントを開催しています。教室や交流会では、彼らが実践する技術や精神面での成長に焦点を当て、子どもたちに感動と豊かな学び、体験を提供しています。

減災・防災・避難地としての役割

グラウンドは、災害時の避難所としても利用されることを視野に入れています。地域住民の安全確保と避難ニーズを想定したものです。地域と共に誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくりに貢献したいと考えています。